**同種災害再発防止対策報告書**

令和 年 月 日

室蘭労働基準監督署長 殿

事業者職氏名

令和 年 月 日に発生した所属労働者 に係る労働災害について、同種災害の再発防止のため、下記のとおり措置を講じましたので報告いたします。

記

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 発生原因 | (物的) | | (人的) |
| 再発防止対策 | [設備等ハード面の改善]  [作業手順、教育等（ソフト面）の改善] | | |
| 再発防止対策を講じた結果現れた効果 | (実施（予定）年月日)　令和　　年　　月　　日 | | |
|  | | |
| 安全衛生教育  の実施状況 | (実施年月日) 令和　　年　　月　　日 | (実施責任者) | |
| (実施内容) | | |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告書作成者職氏名 |  |

（備考）１．各欄が不足の場合は、別紙を添付すること。

２．写真、図面等の参考資料がある場合は、それらを添付すること。

***報告書作成にあたっての留意事項***

１ **「発生原因」**欄は、次の事項を参考として原因を検討し、明らかになった原因について、記載すること。

**（物的）**

①作業場所そのものに危険はなかったか。

②機械、工具、設備などに欠陥又は不備がなかったか。

③作業場所の通路、床面、換気、採光、照明、温度、湿度などはどうか。

④健康障害を発生させる要因はなかったか。

⑤爆発・発火・引火性の物等、電気、熱、その他のエネルギーが災害発生の原因か。

**（人的）**

①作業方法が適切であったか。

②作業指揮者、被災者、共同作業者などに不安全行動がなかったか。

③打合せ、連絡調整は十分であったか。

④作業指示、安全指示は適切であったか。

⑤災害発生の急迫した危険性があるのに、直ちに作業を中止し、労働者を退避させたか。

２ **「再発防止対策」**欄は、発生原因から考えて再発防止に必要な対策を具体的に記載すること。

３ **「具体的な措置内容及び措置を講じた結果現れた効果」**欄は、２の対策によりもたらされた効果を具体的に記載すること。なお、予定の場合は予想される効果を記載すること。

４ **「安全衛生教育の実施状況」**欄は、実施時期、実施責任者名、実施内容を簡単に記載すること。

５　室蘭労働基準監督署への報告方法については、メールでの報告でも可

　　報告先メールアドレス： [0109anei@mhlw.go.jp](mailto:0109anei@mhlw.go.jp)